

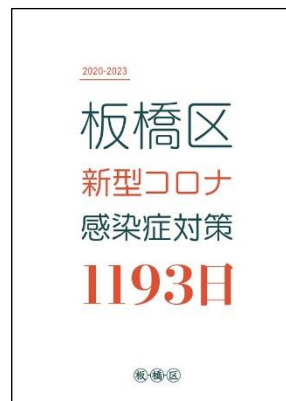
「いたばしNo.1 実現プラン 2025」 令和 5 年度実績報告

1 概要

- いたばしNo.1 実現プラン 2025（以下、No.1 プラン 2025）は、板橋区基本計画 2025 の後半 5 年間（令和 3 年度から令和 7 年度）を計画期間とするアクションプログラムとして、令和 3 年 1 月に策定しました。
- No.1 プラン 2025 では、緊急財政対策と経営革新及び人材育成・活用の加速によって資源を確保し、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、ポストコロナを見据えた重点戦略へ集中投資することによって、行政サービスの質の向上をめざし、取組を進めました。
- No.1 プラン 2025 は重点戦略のほか、実施計画、経営革新計画、人材育成・活用計画、公共施設等ベースプランで構成されており、今般、令和 5 年度の実績を報告します。

2 ポストコロナ時代の「新たな日常」を見据えて

- 令和元年末から感染が拡大し、全世界でパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症は、私たち現代人が経験したことのない未曾有の事態をもたらしました。
- 区では、区民の安心・安全を守ることを第一に、医療体制の確保、ワクチン接種などの感染拡大防止策を実施するとともに、社会経済活動の維持・継続の両立を図るため、全庁を挙げてコロナ対策・対応に最優先に取り組んできました。
- 令和 5 年 5 月 8 日、感染症法上の位置づけが 5 類に移行され、外出制限や濃厚接触者の特定及び外出自粛要請はなくなりました。ウィズコロナの下、個人・事業者の状況に応じた自主的な判断と取組が基本となったものの、今後も一定の流行が続くことが予想されることから、引き続き国や都の動向を注視し、必要な感染症対策を講じていきます。
- また、ウクライナ情勢の長期化等による原材料価格を含めた物価・エネルギー価格等の高騰により、区民生活や区内中小企業の経営は厳しい状況が続いています。
- このため、児童・生徒への給食費の無償化やキャッシュレス決済ポイント還元事業などを通じて、区民生活及び区内事業者の支援を切れ目なく実施してきました。
- 引き続き、物価高騰など区民生活への影響が大きい緊急課題に対して、区民の安心・安全を第一に、生活支援と地域経済の活性化にスピード感を持って柔軟かつ的確に対応していきます。



新型コロナウイルス感染症対策を整理

【令和 5 年度に実施した新型コロナウイルス感染症及び物価高騰への主な対策】

- 検査・医療体制 14 億 3 百万円(ワクチン接種対応 など)
- 生活支援 95 億 64 百万円(子育て世帯への臨時特別給付金 など)
- 産業支援 36 億 67 百万円(キャッシュレス決済ポイント還元事業 など)
- 子育て・教育活動支援 29 億 69 百万円(学校給食費無償化 など)
- その他 79 百万円(スポーツフェスティバル in 板橋の開催 など)



キャッシュレス決済ポイント還元事業



スポーツフェスティバル in 板橋開催



学校給食無償化開始

3 重点戦略の主な事業



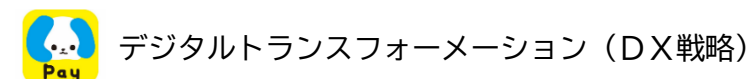
23 区初となる常設食品貯蔵庫「街かどフードパントリー」運用開始



UR 都市機構と「高島平地域のまちづくり推進にかかる基本協定等」締結



板橋区かわまちづくり基本構想「ITTA KAWAMACHI PROJECT」発表



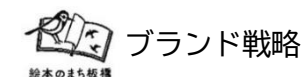
区公式 LINE アカウント開設



書かない窓口サービス開始



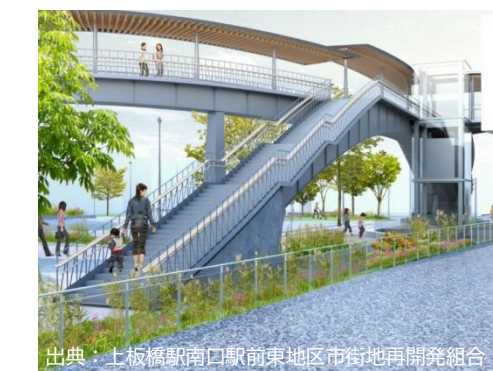
いた Pay 健幸ポイントスタート



絵本のまちひろば ステージライブ



海外姉妹友好都市 5 都市紹介イベント



「かみいた」の街をつなぐ
上板橋駅南口駅前広場計画

4 実施計画

- 実施計画では、SDGsを見据えながら、板橋区基本計画 2025 に定めた3つの基本目標と9つの基本政策に基づき、3年間で53の計画事業を実施しました。7割以上の事業が「完了」または「順調」に進捗しています。
（令和5年度実施計画事業決算額：166億24百万円）
- 一方で、コロナ禍により東京 2020 大会関連事業などは事業内容を変更して実施し完了したほか、用地取得など対面交渉・説明が必要な事業において一部遅延等が発生しました。
- No.1プラン 2025 における3年間の成果を活かし、先送りしていた公共施設の老朽化対策を再開するとともに、重点戦略のバージョンアップを図り、現基本計画の目標達成への総仕上げに向け、実施計画の充実を図ります。

基本目標		事業数	実績			
	基本政策		完了	順調	一部遅延等	変更
I	未来をはぐくむあたかいまち	10	4	4	1	1
	1 子育て安心	3	3	0	0	0
	2 魅力ある学び支援	5	1	4	0	0
	3 安心の福祉・介護	2	0	0	1	1
II	いきいきかがやく元気なまち	9	4	4	0	1
	1 豊かな健康長寿社会	1	0	0	0	1
	2 心躍るスポーツ・文化	6	4	2	0	0
	3 光輝く板橋ブランド・産業活力	2	0	2	0	0
III	安心・安全で快適な緑のまち	32	2	20	9	1
	1 緑と環境共生	8	0	7	0	1
	2 万全な備えの安心・安全	7	1	3	3	0
	3 快適で魅力あるまち	17	1	10	6	0
計画を推進する区政経営		2	0	2	0	0
合計		53	10	30	10	3

※実績の評価について
「完了」とは、3か年の計画事業量を実施し、事業として完了したもの。
「順調」とは、概ね計画に基づいた進捗が図られているもの（概ね7割以上）。
「一部遅延等」とは、計画事業量に一部遅延等が生じているもの。
「変更」とは、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、計画を変更して実施したもの。

5 経営革新計画

- 経営革新計画では、計画事業 16 事業のうち、令和4年度までに事業が完了した2事業を除く 14 事業の取組を進め、このうち「区立特別養護老人ホームの民営化」や「旧職員住宅の処分」等については、計画どおり対応が完了しました。約8割の事業が「完了」または「順調」に進捗しています。
- No.1プラン 2025 における3か年の成果を活かし、行政サービスを量から質に転換し、持続可能な区政経営の実現に向け、構造改革を進めていきます。
- 【主な計画の取組】
- （1）行政手続きのオンライン化やテレワーク環境の拡大など、区民の利便性向上や職員の働き方改革に向けた取組を実施しました。
 - （2）区立特別養護老人ホームの民営化、保育園4園の民営化に向けた準備など、行政サービスを提供する多様な経営資源とその管理手法の最適化を図りました。
 - （3）使用料・手数料等の見直しについては、令和7年度の改定に向けた方針の検討を行い、補助負担金等は、各事業の評価・効果測定の観点から継続的に見直しを実施しました。
 - （4）民間提案制度の試行に向け、民間との共創による新たなサービスの創造をめざす体制づくりの検討を行いました。
 - （5）社会情勢の変化に対応するため、包括的な支援の実施に向け、健康福祉センター及び福祉事務所の体制の見直しを行いました。

6 人材育成・活用計画

- 人材育成・活用計画は、人材育成事業・人事施策・職場での取組の3つの観点から、ポストコロナ時代における「新たな日常」をはじめ、激変する社会経済情勢や、予測困難な状況における課題などに対応できる職員の育成とその活用をめざしています。
- 令和5年度は、目標による管理制度について、目標設定方法をボトムアップ型に変更し、職員一人ひとりが考えた課題に対して、主体的かつ計画的に行動できる取組へと運用を見直しました。
- また、複線型人事制度の対象分野の拡大、および福祉職キャリアアッププランを策定するなど、職員の専門性を高め、能力を引き出すための取組を実施しました。

7 公共施設等ベースプラン

- 令和3年度から令和5年度に、子ども家庭総合支援センター、弥生児童館、板橋第十小学校、上板橋第二中学校、志村坂下住宅の改築を完了、舟渡小学校、紅梅小学校、植村記念加賀スポーツセンターの長寿命化改修を完了しました。また、集会所（山中児童遊園内集会所、東新集会所、前野町三丁目集会所）といこいの家（13か所）を廃止し、特別養護老人ホーム（2か所）と板橋保育園を民営化しました。
- 延床面積とライフサイクルコスト（LCC）を抑制してきた一方で、更新する施設においてサービス・機能・魅力の向上を図りました（令和5年度までの施設延床面積増減：13,066㎡減少、LCC削減見込：約81億円）。

8 No.1プラン 2025 改訂版

- No.1プラン 2025 は、1年前倒しで策定した令和3年当時、感染拡大を繰り返していたコロナ禍の先行きが不透明である中、計画期間の3年目である令和5年度において、社会経済や財政状況を踏まえながら改訂することを想定していました。
- そのため、令和6年1月にNo.1プラン 2025 改訂版を策定し、計画期間における最後の2年間（令和6～7年度）の事業量・経費及び財政状況を明らかにしました。
- No.1プラン 2025 改訂版では、これまで取り組んできた「SDGs戦略」「DX戦略」「ブランド戦略」の3つを柱とする重点戦略の成果を踏まえ、区長マニフェストに掲げられた「3つのチャレンジ」である「未来を担う人づくり」「魅力あふれる元気なまちづくり」「安心・安全な環境づくり」の視点から重点戦略のバージョンアップを図り、SDGsの目標である2030年や次期基本計画を見据え、「東京で一番住みたくなるまち」の新たなステージをめざします。

■令和5年度における区の成果・評価



上板二中 優良学校施設部門賞受賞



中央図書館 日本図書館協会建築賞受賞



モスフードサービスと包括連携協定締結



江村美咲選手 板橋区民栄誉賞贈呈



「Tokyo 区市町村DXaward2023」
業務改善部門 大賞受賞



令和6年能登半島地震への支援
石川復興応援物産展開催